広報

JAきたそらち

2019 9

No.222

ひまわり咲ちゃん、アグリファイター・ノースドラゴンとの記念撮影

ひまわりライス１年間分を贈呈

「甘くて美味！」とひまわりメロンを大絶賛

8月7日、北竜町ひまわりの里にて、アイドルグループ「マジカル・パンチライン」のメンバー清水ひまわりさんの『北竜町ひまわり観光大使』委嘱状交付式が行われた。

佐野豊北竜町長から観光大使の委嘱状と名刺の贈呈が行われた後、北竜ひまわりライス生産組合の川村功組合長より『ひまわりライス1年間分』が贈呈された。

清水さんは就任にあたり、「観光大使に選んでいただき感謝しかございません。頑張って北竜町やひまわりの里をアピールできるように努めて参ります」と挨拶した。(2ページに関連記事)

JAきたそらちでは、ホームページとFacebookで、
魅力満載の情報を発信中です！ ぜひ、ご覧ください！

ホームページ　Facebook

～目　次～

◆スローフードフェスタ inふかがわ ― 3

◆第10回 焼肉フェスタ開催 ― 4

◆北育ち元気村花き生産組合 組合員交流会を開催 ― 4

◆北竜町メロン・すいか祭 開催 ― 8

「マジカル・パンチライン」清水ひまわりさん「北竜町ひまわり観光大使」に就任！

(ⓒよい食P)

人気上昇中の６人組アイドルグループ「マジカル・パンチライン」のメンバー清水ひまわりさんが「北竜町ひまわり観光大使」に就任した。８月７日と８日の２日間、清水さんが同町へ来町し、観光大使委嘱状交付式や同町特産ひまわりすいかとひまわりメロンの収穫体験などが行われた。

清水さんが観光大使に就任した経緯は、当JA北竜支所が今年３月に参加したアイドルと一緒に地域農産物を販売するイベントにて、売れ残っていたひまわりライスを人気アイドルに販売してもらったところ数十分で完売した。アイドルファンの購買力を目の当たりにした同支所の星野忠雄支所長が、以前から目を付けていた同町の有名な「ひまわり」と名前が同じ清水さんを北竜町ひまわり観光大使として佐野豊北竜町長に推薦したことがきっかけとなり、町が清水さんに委嘱した。星野支所長は７年前に、「乃木坂46」の元メンバーで現在は女優として活躍中の深川麻衣さんを起用して深川米をPRした経験を持つ。

当日、北竜ひまわりの里で行われた委嘱状交付式では、佐野町長が観光大使の委嘱状と名刺の贈呈を行い、北竜ひまわりライス生産組合の川村功組合長が観光大使の就任を記念して「ひまわりライス１年間分」を贈呈した。川村組合長は「北竜町の安心安全なお米をたくさん食べてください」と述べ贈呈状を直接手渡し、当JA北清裕邦北竜地区代表理事より「きたくりん」のご飯パックが直接手渡された。また委嘱状交付式の後には、同町の公式キャラクター「ひまわり咲ちゃん」とご当地戦隊ヒーロー「アグリファイター・ノースドラゴン」との記念撮影が一面に広がるひまわり畑を背景に行われた。

ひまわりすいか組合の渡辺俊成組合長のほ場では「ひまわりすいか」の収穫体験、農事組合法人ほのかでは「ひまわりメロン」の収穫体験がそれぞれ行われ、清水さんは「普段はこういう経験をすることがないからとても楽しいです」と話しながら、次々にすいかとメロンを収穫し体験を楽しんでいた。

ひまわりの里観光センター内の農産物直売所みのりっちの売店では、清水さんに手渡した「きたくりんご飯パック」２袋と北竜町清水ひまわりさんを応援する会の会員証として作成したリストバンドのセットが観光大使来町記念のお土産として販売されています。

組合員の皆様も、「北竜町ひまわり観光大使 清水ひまわりさん」を応援して下さい。

北清北竜地区代表理事と

ひまわりすいか組合 渡辺組合長と

農事組合法人ほのかの組合員と

スローフードフェスタinふかがわ

7月27日、28日、2019ふかがわ夏まつりがJR深川駅前通りの特設会場で開催され、27日は関係農業団体で構成する深川市農業対策協議会主催の「スローフードフェスタinふかがわ」が行われた。

新鮮で安全な農畜産物を地元に提供し、消費者との交流で絆を深め地産地消を進めることを目的に、毎年ふかがわ夏まつりと同時開催している。

当日は天候が悪く中止になるイベントもあったが、子供のおにぎり作り体験やこめっちじゃんけん大会、北竜町のご当地戦隊ヒーロー「アグリファイター・ノースドラゴン」ショー、スローフード大抽選会など深川市農民協議会や深川市農村青年部によるアトラクションが多数企画され、多くの来場者が参加した。また、当JA役員による野菜の無料配布や青果部のメロンとスイカの試食販売なども人気を集めた。

同日夜に開催された「しゃんしゃん傘踊り」では、各団体から約600人が参加し、当JAからも役職員28人が参加した。参加者は色とりどりの衣装で踊りを披露し、鈴の付いた色鮮やかな傘を回して会場を彩った。

管内の水稲基幹防除を実施

販売部

7月22日、多度志地区を皮切りに管内各地区で水稲基幹防除を実施した。水稲病害虫のいもち病・カメムシ・ウンカによる被害減少を目的に、毎年7月下旬と8月上旬の2回にわたり実施している。

「産業用無人ヘリコプター技能認定証」を持つ各地区の組合員や農業機械メーカーなどが主体となって産業用無人ヘリコプターを操縦し、1台あたり1日平均50ha～60haに防虫剤や殺菌剤などの農薬を散布する。小麦や野菜等の隣接圃場を除外し、他の農作物への農薬残留を防ぐ対策も講じている。

作業に同行した深川支所営農課職員は、「田植え後の天候も順調で平年より成育も早くなっており、虫と病気が心配であるが適期の作業となった。今後の天候も心配ではあるが、高品質・良食味米の生産に努めたい」と話す。

第10回 深川焼肉フェスタ開催

販売部

８月10日、当JA一已７丁目倉庫で、ふかがわ肉牛組合が主催する「深川焼肉フェスタ」が開催された。ブランド化を目指す「深川牛」を広くPRするために2010年から毎年開催しており、今年で10回目を迎える。同組合の馬場勇二組合長は開会式で、「毎年多くの方々にご来場いただき、無事に10回目を迎えることができた。今後も深川牛のブランド浸透に尽力したい」と挨拶した。

来場者は、入場チケットを牛肩ロース・ホルモンのセットと交換し、その他にも会場内で購入したバラやヒレなどを七輪で焼いて「深川牛」を堪能した。また牛肉の様々な部位が当たる抽選会では、「交雑種A4ランク深川牛ロース10㎏ブロック」などが賞品として振舞われた。

北育ち元気村花き生産組合 ☼ 組合員交流会を開催 ☼

青果部

７月17日、北空知広域連花きセンターで、北育ち元気村花き生産組合主催による組合員交流会が開催され、JAきたそらち・JA北いぶきの花き生産者約130名が参加した。

交流会では各種苗会社等による品種・資材展示会が開かれ、元気村の主力品目であるスターチスをはじめ、ヒマワリやトルコギキョウ、ダリアなどの最新・おすすめの品種が展示された。また参加者は、メーカーの担当者より品種特性などの説明を受けた。

展示会の後は、市場の販売担当者やホクレンなどの関係機関を交えた大懇親会が開催され、焼肉を楽しみながらお盆需要の最盛期に向けて英気を養った。

【北空知広域連　柏倉】

「北育ち元気塾」　第4回研修会を開催

農業振興部

7月18日、北育ち元気塾の第４回研修会が行われ、元気塾生７名が出席した。今回は、北海道農業士の平泉真美氏（沼田町）を訪問し、空知農業改良普及センター北空知支所の普及職員と平泉氏から講義や実習、講話を受け、最後に農業鑑定競技を行った。

平泉氏のほ場で、普及職員の小柴潤一氏が「出穂期以降の管理及び水稲害虫（カメムシ）の生態と病害虫防除」について講義した後、実習として塾生はカメムシのすくい取りを行い、実際に目でカメムシの特徴を学んだ。また平泉氏からは複合経営の事例紹介「我が家の経営」の講話を受け、効率を重視した農作業の手順等について学んだ。引き続き行われた農業鑑定競技では、塾生が３班に分かれて水稲や畑作物など農業の知識が問われる問題に協力して挑戦した。

研修会終了後には塾生と講師の交流会が行われ、日々の農作業や近況などを話題に交流を深めた。

【営農企画課　石野】

イチヤン支所協和会　研修旅行を実施

金融共済部

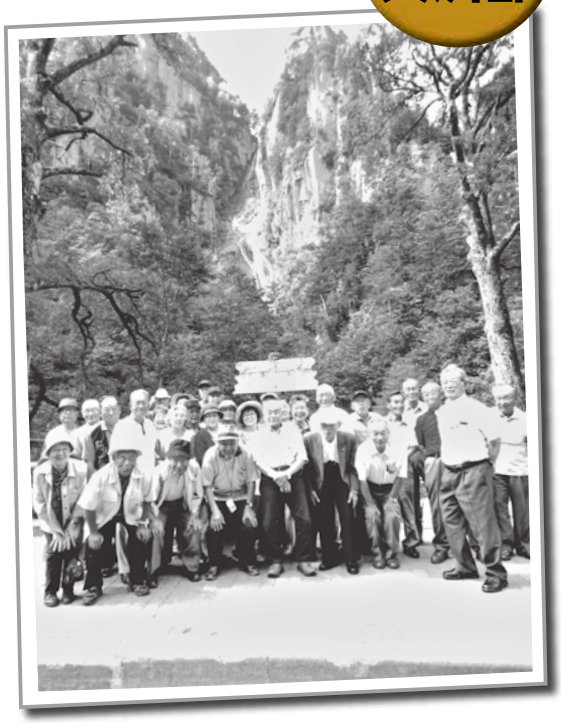
7月23日～ 24日の２日間、イチヤン支所協和会（松田隆夫会長、会員96名）が北見・上川方面で研修旅行を開催し、会員34名が参加した。

初日は、畑作地帯の作物を眺めながら北見市留辺蘂町にある温根湯温泉へ向かい、最初に訪れた「山の水族館」ではイトウの餌やりを見学。宿泊先の「美白の湯宿 大江本家」に到着後は温泉で疲れを癒し、おいしい料理やカラオケで盛り上がった。

２日目は、日本の滝百選にも入っている層雲峡の「銀河・流星の滝」に立ち寄り、次に訪れた旭川の「男山酒造」では酒蔵の見学と日本酒の試飲を行った。

バスガイドさんの軽快なお話に車中の時間も楽しく過ごし、帰りにはたくさんのお土産を買って無事帰宅した。参加した皆さんは日々の忙しさからしばし開放されリフレッシュできた様子であった。

【融資課　小松】



農畜産物処理加工施設の上棟式で餅まきを実施

深川支所

８月５日、深川市音江地区の広里工業団地に今秋完成を予定している地域資源活用農畜産物処理加工施設の上棟式が行われ、当JAの柏木孝文組合長が出席した。

同施設は市が整備するもので、出資する地域営農法人「深川未来ファーム」が飼育したブタの食肉加工を自前で行い、「ふかがわポーク」のブランド確立に向けた核を担う施設となっている。

上棟式の最後には、当JAが贈呈した３俵のもち米より作られた紅白餅の餅まきが行われ、柏木組合長や山下貴史深川市長、鶴岡恵司深川市議会議長などが同施設の屋上から餅を撒き、地域住民や市内の児童、園児などが拾い集めた。

雨竜支所

うりゅう特産品フェア　開催

７月27日、雨竜野菜集出荷施設で「2019うりゅう特産品フェア」が開催された。同フェアはこの時期に毎年開催されており、生産者が店頭に立ち「暑寒メロン」や楕円形のスイカ「マダーボール」、スイートコーンの「サニーショコラ」などを販売した。その中でも特価で販売される「暑寒メロン」と「マダーボール」を買い求める来場客が、販売開始前から会場内に押し寄せた。

販売が開始されると贈答用などにまとめ買いする姿が多く見られ、台車での運搬を担当していた当JA職員は何往復もするなど対応に追われた。また会場入口では、雨竜町開拓130周年を記念し「うりゅう米パックご飯」の無料配布が行われ、当JAの岩田清正専務と遠藤清明雨竜地区代表理事が来場客に直接手渡した。

雨竜支所

雨竜町の各施設へ 旬の味覚『暑寒メロン』贈呈

〈雨竜町保育園〉

7月18日、雨竜町メロン部会（橋本貴之部会長、会員26戸）が、雨竜町保育園に町特産の『暑寒メロン』５玉入り２ケースを贈呈した。この贈呈は地元の特産品を地域の子ども達に味わってもらおうと、同部会が毎年行っている。

この日は、橋本部会長と谷本貴志副部会長が同園を訪れ、橋本部会長は、「雨竜町のメロンに興味を持ってもらえると嬉しい。美味しく笑顔で食べてください」と園児に直接手渡した。受け取った園児の代表は、「たくさんメロンをくださってありがとうございます。おやつの時間においしく食べます」とお礼を述べた。贈呈したメロンは同園のおやつの時間で振舞われた。

また同部会は、同町の小・中学校や高等養護学校にも「暑寒メロン」を贈呈した。

雨竜町保育園

雨竜高等養護学校

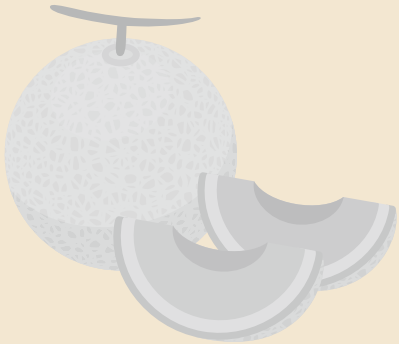
〈雨竜寿園〉

８月１日、当JA雨竜支所が同町内の特別養護老人ホーム 雨竜寿園へ、『暑寒メロン』を贈呈した。同支所では、入居者の方々に夏の味覚を味わってもらおうと、同施設の開園当初から毎年贈呈を行っている。

この日、遠藤清明雨竜地区代表理事が暑寒メロン５玉入り６ケースとタオルを手渡し、道下義夫施設長から「長年にわたりメロンやタオルを頂き感謝申し上げます。入居者の方々は毎年喜んで食べられています」とお礼の言葉を頂いた。

【金融共済雨竜支所　長谷川】

雨竜寿園



北竜町 メロン・すいか祭開催

８月１４日、当JA北竜野菜集出荷施設前で「北竜町メロン・すいか祭」が開催された。毎年お盆時期に開催しており、町特産の「北竜ひまわりメロン」や「ひまわりすいか」が特価で販売されることから多くの買い物客が訪れる。

来場者は規格ごとに分けられた販売ブースに並び、糖度の高さなどを生産者に直接聞きながら好みのものを買い求めた。初めて来場したという札幌市の女性は「試食したら甘くて美味しく、色も黄色でとても可愛らしいのでたくさん購入した。孫に食べさせてあげるのが楽しみ」と話し、ひまわりすいか６ケースをまとめ買いした。この日はメロン約700ケース、すいか約450ケースを準備し、どちらも好調な売れ行きで完売する規格もあった。

北竜支所

ひまわりまつり「特産米祭・友愛セール」で 安心安全な農産物をPR

７月27日、ひまわりの里で開催中の『ひまわりまつり』のイベントの１つ、青年部北竜支部と女性部北竜支部による「特産米祭り・友愛セール」が行われた。特産米祭りでは青年部員が試食を勧めながらひまわりライス「きたくりん」の５合升すくい取りと風の子もち１㎏を販売し、友愛セールでは新鮮野菜の詰め放題販売を行った。

この日は朝から生憎の大雨で集客が心配されたものの、どちらのブースも完売となり、来場者に北竜町の安心安全な農産物を来場者にPRした。

午後から展望台にて行われた毎年恒例の餅まきには、大勢の来場者が参加しこちらも賑わいを見せた。

【北竜支所　長谷川】

北竜メロン生産組合
真竜小学校などに「北竜ひまわりメロン」贈呈

7月17日、北竜メロン生産組合（前田規文組合長、30戸）が北竜町立真竜小学校へ『北竜ひまわりメロン』5玉入り3箱の贈呈を行った。この贈呈は、地元の特産品を地元の子供達に味わってもらうことを目的に毎年行われている。

この日は前田組合長が小学校を訪れ、「今年は豊作で味も良いので、美味しく召し上がって下さい」と同小学校の児童会5名に手渡した

受け取った児童は「農家の方が一生懸命育てたメロンを今年も貰えることを楽しみにしていました。給食で食べるのが楽しみです」と感謝の言葉を述べた。

また同日に、同町立北竜中学校にも贈呈を行った。

【北竜支所　長谷川】

北竜支所

ひまわりすいか収穫体験

7月31日、農協観光主催の「ひまわりすいか収穫体験」がひまわりすいか組合 渡辺俊成組合長の圃場にて行われた。北海道の農業を体験し、知ってもらおうと企画されたこのツアーには70名以上の応募から抽選で選ばれた42名が札幌市などから参加した。

渡辺組合長が「ひまわりすいか」を紹介し、収穫時の注意点などを実演交えながら説明した後、早速体験に入った。参加者からは「小玉なのにずっしりと重みがあるんですね」、「家庭菜園でスイカを栽培していたことがあるが、収穫時期が難しくて・・・今回参加してとても勉強になりました」などの声が聞かれた。その後の質疑応答では、「苗を植えて何日後に収穫できるのか」、「1つの苗から幾つのスイカが収穫できるのか」など沢山の質問が出され、1つ1つ丁寧に答える渡辺組合長の回答に参加者は熱心に聞き入っていた。

酪農大生による「雪乃御殿」見学

８月14日、酪農学園大学の学生６名が当JA幌加内支所のそば関連施設である利雪型低温倉庫「雪乃御殿」を見学した。幌加内高等学校の卒業生で同大の地域の町おこしを目的としたゼミナールに所属している樋浦辰樹さんが、自分のルーツでもある幌加内町を知ってもらいたいという思いで同ゼミナールの学生を連れて来町し、そば打ち体験や同施設の見学を行った。

当JA幌加内支所の荒田勇次課長が同施設を案内し、同町の豊富な雪資源を利用してソバの品質を低下させずに保管する仕組みなどを説明した。学生は貯蔵されている大量の雪を見て驚きつつも、倉庫に雪を搬入する方法や夏場でも貯蔵されている雪が解けない理由などを質問していた。

樋浦さんは、「同じゼミナールの仲間に幌加内町の素晴らしさを知ってもらい、町ならではの体験をしてもらえてよかった。今後はゼミナールの中で、幌加内町の農産物などを使って地域おこしになる物を作りたい」と話す。

コンプライアンス研修会を実施

７月29日、当JA本所の大会議室で、不祥事防止の意識を高めるため全役職員を対象に「コンプライアンス研修会」を開催した。

講師は（株）青山プロダクション代表取締役の青山夕香氏が務め、最近のコンプライアンス問題では「バイトテロ」問題や不正を目撃した時の報告方法、ハラスメント問題ではアルコールハラスメントやパワーハラスメントなど多種類のハラスメントなどについて事例を挙げながらわかりやすく説明した。役職員にとって自分の言動を振り返る大変良い機会となった。

また総務経理課職員が、個人情報保護の重要性や漏洩等防止と個人情報保護に関する法令違反のリスクについて、基本知識を確認しながら取扱いの注意喚起を行った。

青果部からのお知らせ

食育ソムリエを目指しませんか?

JAきたそらちも会員となっている北空知圏地場産農産物利活用推進協議会は、地産地消を積極的に促し、農産物の販路拡大等に資するため、『食育ソムリエ講座受講費等助成事業』として、食育ソムリエ講座を受ける方々へ受講料と旅費の一部を助成します。
※食育ソムリエ養成講座についての詳細は下記ホームページをご参照ください。
https://www.japan.coop/wp/publications/study/sommelier/sommelier_training
（日本協同組合連携機構ホームページ）

食育ソムリエ講座受講費等助成事業

募集人数
- 6名
  ※但し、希望者が多い場合は選考となります。

応募資格
- 居住地、勤務先が共に北空知（深川市、秩父別町、妹背牛町、沼田町、北竜町）の方
- 食育ソムリエ資格取得後、資格を活用した活動を積極的に行える方

助成額
- 10万円を上限として、受講料、旅費（交通費、宿泊費）を対象に助成します。
  ※支払いをしたことを証明するもの（例：領収書）のご提出が必要となります。口座振替による支給となります。

提出書類
- 食育ソムリエ受講料等補助金申請書　※以下のURLよりPDFファイルのダウンロードが可能です。
  http://ja-kitasorachi.com/news/?pid=710（JAきたそらちホームページ）
- 800文字程度のレポート（様式自由）。出来る限り、具体的にご記入ください。
  課題：「食育ソムリエ資格を取得する目的は何か。食育ソムリエ資格を取得後、どのような活動を行いたいか」

応募締切
- 令和元年10月25日（必着）

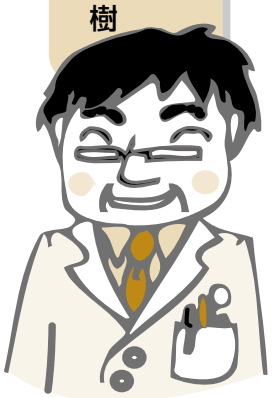
その他
- 資格取得後1年以内に活動報告をしていただきます。
  また、やむを得ない事情等で活動報告や口座の受講を中止せざるを得ない場合はその旨の申出書を提出していただきます。
- 講座の資格認定試験に合格、不合格に関わらず、結果通知の写しを事務局へご提出願います。
- その他不明な点等ありましたら、事務局へお問い合わせください。

申込・問い合わせ先
北空知圏地場産農産物利活用推進協議会（事務局：北空知圏学校給食組合）
〒074-0014　深川市開西町1丁目6番4号
電話番号：0164-23-5533　／　FAX:0164-22-1220
メールアドレス：dream-kitchen@kitasorachi.hokkaido.jp

健康百科

「統合失調症」について

吉本病院　院長　松本三樹



統合失調症は精神科における最も重要な疾患の一つであり、「内因性」精神障害の代表例です（「内因」とは素因や遺伝的要因が関与して生じる病気という意味であり、原因不明というニュアンスも含まれています）。

この病気はかつて精神分裂病と呼称されていましたが、２００２年に「知・情・意の統合に失調をきたす病」という意味の統合失調症に改称されました。発症すると長期間の薬物療法が必要ですが、病気と適切に向き合うことによって（後述）良好な経過をたどる可能性が高くなります。

❶原因と有病率

統合失調症の原因は現在でも解明されていません。また、単一の原因による疾患単位であるという証拠もありません。ただし、「幻聴」や「妄想」などの精神症状の発現に脳内ドーパミン活動の亢進が関与していることは間違いないようです（ドーパミン仮説）。

有病率は０・７～０・８％と言われています。決して稀な疾患ではありません。

❷統合失調症のアウトライン

この病気は①青年期（主として10代後半から30歳頃まで）に発症し、②慢性の経過をたどり、時には再発するという特徴を有しています。また、③半数くらいの患者さんに社会適応力の低下が残遺することがあり（後述）、④病識（患者さん自身の病気と治療に対する理解）が得られにくいことから、治療の中断・再発が生じやすい点に留意する必要があります。

❸精神症状

「急性期」の症状は幻聴や妄想が中心であり、これらの症状が著しい不安をもたらすことによって状況にそぐわない言動や興奮状態がみられることがあります。急性期の症状には薬物療法が効果的です。

「慢性期」の症状として、前述の③社会適応力の低下がみられる場合があります。その程度は患者さんによって様々ですが、「意欲や集中力の低下、喜怒哀楽がはっきりしない感情の平板化、ひきこもり」などの臨床症状が前景に立つようになります。慢性期にも薬物療法の継続が不可欠ですが、この時期にはむしろ患者さんの社会適応力に応じたリハビリが重要になります。障がい者自立支援法などの活用がポイントといえます。

❹治療法

対症療法としての薬物療法が重要であり、脳内のドーパミン受容体に作用する薬剤が中心的役割を果たしています。急性期の症状が改善された後も薬物療法の継続は必要です。

臨床的に一番問題になるのは薬物治療の中断であり、その結果急性期の症状が再燃して入院に至る場合が少なくありません。前述の「病識」の有無が関係した臨床的に難しい問題です。

❺まとめ

図１に「統合失調症の治癒係数の概念（林宗義を改変）」を示しました。治癒係数が「分数」で示されています。この数字が大きくなれば予後良好であり、小さくなれば不良ということです。従って、予後良好になるためには「分子を大きく（各因子の関与を良好に）」し、かつ「分母を小さく」することが重要です。

この病気は長期治療が必要であり、治療過程で生じる様々な要因が予後に影響を及ぼしていることをご理解いただきたいと思います。

図１．統合失調症の治癒係数の概念

（医学的心理学的治療＋患者の介入＋家族の介入＋社会的介入）
疾病の病的プロセス×時間要因

- 患者の介入：病識の有無、通院服薬状況、職業の適切な選択など
- 家族の介入：過干渉な家族、びょうきを秘め隠す家族など
- 社会的介入：障害年金、自立支援、就労支援などの活用
- 時 間 要 因：発病から治療開始までの期間

新風

新規就農者

氏名　岸田（きしだ）　直樹（なおき）　さん
年齢　37歳
出身地　湧別町
趣味　楽器演奏
研修先　多度志地区（農）米道産
代表理事　堂田　幸男さん

☆目指す農業

私は4月に深川市に移住して農事組合法人米道産に就農しました。

農作業は未経験のため全てが初めてのことであり、大変だと思うことも多々あります。しかし、やりがいも感じながら毎日楽しく仕事をしています。

私のように農外から就農を希望される方に、農業の楽しさ・魅力を伝えていけるような農業者になりたいと考えております。今後とも皆様のご指導宜しくお願い致します。

新規就農者

氏名　十川（とがわ）　泰則（やすのり）　さん
年齢　31歳
出身地　深川市多度志地区
趣味　野球、バスケットボール
研修先　多度志地区（株）竹田
代表取締役　竹田 真也　さん

☆目指す農業

まだまだわからないことも多いですが、一日でも早く知識・技術を習得し、美味しい農産物をたくさんの人に食べていただけるような農業者になっていきたいと考えております。

地域全体を盛り上げていけるように頑張りたいと思いますので、今後とも皆様のご指導、ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。

【新規就農希望者受入農家・新規就農希望者募集】

ＪＡきたそらちでは、新規就農希望者を募集しております。興味がある方は、下記にお問い合わせ願います。

◇　問い合わせ先：農業振興部　営農企画課【TEL：0164-26-0134】
◇　ホームページ：http://www.ja-kitasorachi.com/farmer/index.html
◇　農業人フェア：日　　時　9月8日（日）10:00～16:30
　　場　　所　池袋サンシャインシティ　ホールA-2、3
　　〒170-0013 東京都豊島区東池袋3-1-1
　　出展地区　北竜町

転載不可

JA北海道厚生連からのお知らせ

JA 配置薬のご案内

野菜不足解消にこの一杯!!

栄養機能食品（ビタミンB12）

野菜酵素 青汁

甘みのあるおいしい抹茶風味の青汁に
植物由来の野菜酵素をプラス

商品の特徴

1. ５種類の青汁原料を使用
   ・栄養価の高い大麦若葉の新芽のみを選別し、 贅沢に使用しています。
   ・その他に、ケール、ゴーヤ、桑の葉、明日葉も使用しています。
2. １０８種類の野草・野菜・果物・海藻類を発酵させた食物酵素を配合
3. お茶感覚で楽しめる抹茶風味

1箱　3g×31包（1か月分）

1包当り約77円　**2,376円(税込)**

●こんな方にお勧めします

・食生活が偏りがちな方
・生活習慣が不規則な方
・便秘気味で毎朝すっきりしない方
・美容と健康が気になる方

●お召し上がり方

・1包を100～150ccの水又はお湯に溶かしてお召し上がり下さい。
・1日1～3包程度を目安にお召し上がり下さい。
・牛乳やヨーグルトに混ぜても美味しくお召し上がりいただけます。

おいしさが違います
是非、お試し下さい

商品のお問い合わせ･お求めは
JA北海道厚生連 配置薬課
フリーコール 0120−99−4193（救急の よい クスリー）
またはお近くのJA配置薬推進員までどうぞ。

JA グループ通信

ＪＡ北海道中央会

７月３日に全道ＪＡの組合長ら70 名が参加し、国際貿易協定・交渉の情勢並びに令和２年度国費予算概算要求に係る農林水産省との意見交換会を実施しました。日米貿易協定交渉を含む国際貿易協定については、農業が犠牲にならないよう取り進めるよう十分な検証と対策を実行するよう要望しました。国費予算概算要求については、JA グループ北海道で決定した政策提案を元に、作目別共通対策、水田農業対策、畑作青果対策、酪農畜産対策と農林水産省に対して、北海道の生産現場に必要な意見を要望しました。今年は国が「食料・農業・農村基本計画」を見直す５年に１度の重要な年であり、見直しにあたっては専業農家が多い北海道農業が食料安定供給に果たす役割の明確な位置づけと、北海道農業の根幹を支えている家族経営が農業生産を維持・拡大できる施策を盛り込むこと等、を要望しました。引き続き、ＪＡグループ北海道の政策提案の実現を図り、今後も北海道の農家・組合員が安心して営農できるよう取り組んで参ります。

ＪＡ北海道信連

札幌市の大通公園には、各企業等の協力により造成されているスポンサー花壇があります。JAバンクも、農林中央金庫が中心となって、長年、花壇造成に協力してきています。今年は、7月6日、農林中央金庫札幌支店や北海道信連の職員などが参加し、大通公園西4丁目で植栽を行いました。

JAらしい緑化事業への参加を通じて、JAバンクは豊かな地域社会づくりに貢献しています。

ＪＡ共済連北海道

ＪＡ共済連では、7月６日に札幌ドームで開催された「北ガスグループ６時間リレーマラソン」に有志２６名が参加しました。他の企業も多数参加しており、ＪＡ共済連では「ひと・いえ・くるまの総合保障」を掲げ、職員が揃いのTシャツを着て一生懸命走ることで、ＪＡ共済を大きくＰＲしました。

今後もこのような活動を通して多くの皆さんに「ＪＡ共済」を知っていただくよう活動していきます。

ホクレン

ホクレン女子陸上競技部は、北海道内の小学校で「みんなで走ろう!陸上教室」を開催しています。今年は厚真町の厚真中央小学校を皮切りに、同校を含む6校を対象として、走り方の基本や基礎トレーニング方法などを分かりやすく指導しています。この活動は地域・社会貢献活動の一環として2011年から続けております。厚真中央小学校では4~6年生合わせて約 70 人を指導し、楽しみながらランニングの基本や筋力トレーニングを教えました。

ＪＡ北海道厚生連

組合員ならびに地域住民の皆様の生命と健康を守るため、本会事業の積極的な啓蒙推進を図ることを目的として、広報誌「すまいる」を発行しております。

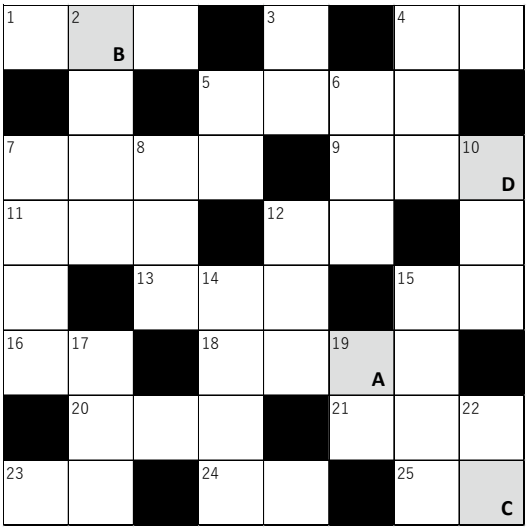
このたび紙面をリニューアルし、より読みやすくさらに健康に役立つ医療・健康情報を発信しております。

ホームページにもバックナンバーを掲載しておりますので、是非ご一読ください。

ＪＡグループ北海道の連合会・中央会の活動内容を紹介します。各団体の詳しい取り組み内容はＷＥＢサイトをご覧ください。

クロスワードクイズ

提供元：クロスワード.jp



A	B	C	D

【タテのカギ】

2 手紙で本文を書き終えた後でさらに書き加える文
3 動物が食べたり、声を出したりする顔の部位
4 材木の表面を平らに削るための大工道具
5 碁盤の上に互いに白と黒の石を置いていく遊び
6 高温の空気
7 全く色が付いていないこと
8 梨や柿、ミカンなどの植物の実のこと
10 紅葉などを見るのに最も良い時期、○○○を迎える
12 言葉の意味や用法などを調べる書物
14 年下の女のきょうだい
15 布地にいろいろな糸を使って絵や模様を縫い表すこと
17 旅行に必要な費用
19 父や母の男の兄弟
22 植物の花や葉を支える部分

【ヨコのカギ】

1 物事を行うときの手の動かし方
4 海のミルクとも言われる貝
5 12か月、365日
7 虫を入れるカゴ
9 大きな高波が海岸に押し寄せてくる現象
11 神をまつる儀式
12 ある一定の期間
13 「追試験」の略
15 雪や雲のような色
16 野山に生える落葉樹、実はいがいがのトゲで包まれている
18 祭など人を集めて行う様々な行事
20 前もって防ぐこと、○○○接種
21 私設の学問や技芸を学ぶところ
23 キノコの毒などで体の働きが弱まったり痺れたりすること
24 翼とくちばしを持ち、体が体毛で覆われている動物
25 ⇔乾期

7月号の正解は
「タナバタ」でした。
正解者の中から抽選で3名が選ばれました。

深川市　水野恵美子　様
雨竜町　源　慶子　様
幌加内町　井上　憲明　様

応募方法

正解者の中から抽選で3名様に農協全国商品券をプレゼント。ハガキ・FAXで①クイズの答え②住所、氏名、年齢③身近な出来事④農協だよりに対するご意見ご要望を記入の上ご応募下さい。
締切9月30日消印有効で当選者とクイズの答えは11月号に掲載します。

【送り先】〒074-0022　深川市北光町1丁目10番10号
JAきたそらち総合企画室企画広報課　FAXの場合は 0164-22-8611

八月俳句

●雨竜俳句会

いづこより蟻の行列果てしなく　有田　茉莉
喧騒のなかでさみしい泡立ち草　大林アヤ子
野仏の白ばら今が盛りなり　北川　満江
黒猫と心通いし夏の月　小山　邦男
風鈴や赤子すやすや祖母の膝　松木　五月
雨の音早の町に心地よく　宮武めぐみ
輪になって海の記念日砂遊び　吉見サヨ子

●「道」俳句会　北竜支部

蜩や予が予であれと女僧説く　山本　玲子
青嵐轟と不戦の声を上げ　阿部れい子
持て余すふくらはぎとも残暑とも　吉尾　広子
浅黄色静寂平らに稲の花　山岸　正俊
砂浜に令和と書いて終戦日　山下　好晴
万緑を打つや太鼓の音揃う　佐光久美子
採血の真白き椅子や秋立ちぬ　杉本　隆文
出来秋のきざしを見つつ散歩かな　高田　紀子

●土筆俳句会

陣痛の始まる母屋蝉時雨　高尾美津子
手に止まる蛍よははのほたるやも　池田　美知
病室に桔梗一輪紙コップ　坂本　朱実
この暑さ読書するのも力つき　引地紀代子
一等賞ほこれる一日運動会　山川　輝子
やうやくに秋の気配か松の揺れ　南川冨美子
若返る子らの笑顔や七夕夜　佐藤英三子
出航に湧く声テープ雲の峰　小橋　厚子

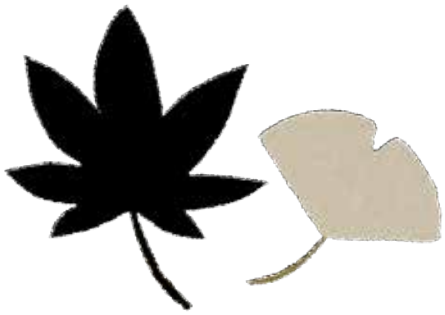
第８回理事会 〈令和元年8月1日開催〉

報告事項

1．関係団体等諸会議について
2．監査報告について
3．組合員の加入脱退について
4．財務報告及び事業実績について
5．固定資産の取得・修繕について
6．職員の人事について
7．平成30年度決算 場所別損益について
8．貸出金の貸付報告について
9．クミカン貸越極度額の設定について
10．令和元年度 長期共済一斉推進実績について
11．主要農作物の生育概況（7月15日現在）について
12．うるち米を巡る情勢について
13．令和元年産米 うるち米早期契約締結内容について
14．もち米を巡る情勢について
15．平成29年産　もち米追加精算について
16．米在庫状況と業者別取扱数量について
17．販売未収金について
18．畜産物販売実績について
19．青果・花き集荷販売実績について
20．経済部事業実績について
21．反社会的勢力等との取引排除にかかる定期確認結果について
22．ＪＡにおけるマネロンガイドラインとのギャップ分析の報告について

提出議案

議案第１号　出資金の持分譲渡について
議案第２号　出資減口について
議案第３号　エネルギー管理規程の制定について
議案第４号　給与規程の一部改正について
議案第５号　貸出金の貸付決定について
議案第６号　クミカン貸越極度額の変更について



組合員の動き
（令和元年7月末日）

		当期首	加入	脱退	当月末
正組合員	個人	1,402	12	25	1,389
	団体	85	1	0	86
准組合員	個人	5,988	77	39	6,026
	団体	329	1	0	330
正組合員戸数		1,015	1	14	1,002

JAきたそらち太陽光発電所　発電実績

○令和元年７月実績
発電電力 **58,143kWh**
計画対比　＋10,232kWh
前年対比　△　2,326kWh

○累計（H30.12～R1.7）
発電電力 **375,751kWh**
計画対比　＋　91,051kWh
前年対比　＋　25,215kWh

金融共済部 共済課からのお知らせ

JA共済

小さなお子さま、お孫さまがいる方へ
“こども共済”を活用した
安心・確実な資産づくり

被共済者加入年齢6歳の場合　共済掛金総額 1,906,023円

満期時
- 差額 93,977円
- 給付率 約104.9%
- 年平均利回り 0.30%
- お受取総額 2,000,000円

（参考）10年後、やむを得ず解約された場合

10年後
- 差額 45,011円
- 給付率 約102.3%
- 年平均利回り 0.23%
- 解約返戻金 1,951,034円

ご契約例　こども共済 学資金型（大学プラン） 全期前納・共済掛金払込免除不担保特則付

- 被共済者加入年齢：6歳
- タイプ：基本型
- 共済金額：200万円
- 共済期間：22歳満期
- 学資金支払開始年齢：18歳
- 共済掛金払込終了年齢：12歳
- 払込方法：年払い（口座振替扱い）

ご契約者の年齢制限なし　健康状態の告知不要

※共済掛金払込免除不担保特則を付加している場合に限ります。共済掛金払込免除の保障はありません。

※学資金、満期共済金のお受取りの時期は契約応当日です。お子さまの誕生日ではありません。出生予定日の140日前からご加入になれます。

●お孫さん、お子さんの年齢別掛金・給付率等一覧（平成31年4月現在）

※ご契約例は上記と同じ。ただし、加入年齢が3歳・6歳の払込終了年齢は12歳、9歳の払込終了年齢は15歳とします。
※給付率＝お受取総額÷共済掛金総額
※給付率は、お孫さんやお子さまの契約日時点の年齢、学資金支払開始年齢など契約内容によって異なります。
※「年平均利回り」＝（お受取総額（解約返戻金）－共済掛金総額）÷共済掛金総額÷経過期間（年数）×100（学資金を据え置いた際に発生する利息は計算に含めていません。小数点以下3桁目を切り捨てて表示しています。）
※10年後解約時のお受取総額は、第10共済年度の末日に解約等を行った場合の数値です。実際の金額は解約等を行った時期により変動しますのでご注意ください。

		3歳	6歳	9歳
満期時	共済掛金総額	1,892,968円	1,906,023円	1,944,702円
	お受取総額	2,000,000円	2,000,000円	2,000,000円
	差額	107,032円	93,977円	55,298円
	給付率	約105.6%	約104.9%	約102.8%
	年平均利回り	0.29%	0.30%	0.21%
10年後解約時	共済掛金総額	1,892,968円	1,906,023円	
	解約返戻金	1,910,932円	1,951,034円	
	差額	17,964円	45,011円	
	給付率	約100.9%	約102.3%	
	年平均利回り	0.09%	0.23%	

JAの自動車共済 お見積りキャンペーン 実施中！

キャンペーンWebサイトはこちら http://car-cp.ja-kyosai.or.jp
またはJA共済ホームページ http://www.ja-kyosai.or.jpからもアクセスできます。

●お問い合わせは

JAきたそらち

本所	TEL 0164-22-6619	多度志支所	TEL 0164-27-2111
音江支所	TEL 0164-25-1111	雨竜支所	TEL 0125-77-2331
深川支所	TEL 0164-22-2171	北竜支所	TEL 0164-34-2280
納内支所	TEL 0164-24-2211	幌加内支所	TEL 0165-35-2024

詳しくはお近くのJAまでお気軽にお問い合わせください

この資料は概要を説明したものです。ご検討にあたっては、「重要事項説明書（契約概要）」をお受けください。また、ご契約の際には、「重要事項説明書（注意喚起情報）」および「ご契約のしおり・約款」をお受けください。

1901990003

■発行／きたそらち農業協同組合　〒074-0022　北海道深川市北光町1丁目10番10号　TEL 0164(22)6600　FAX 0164(22)8611
http://www.ja-kitasorachi.com　■編集／総合企画室企画広報課　■印刷／株式会社 須田製版